下水道浄化センター試掘調査

中島郡平和町須ケ谷および稲沢市一色町、儀長町に建設予定の下水道浄化センター用地内において、一色青海遺跡の範囲確認調査を行った。調査は92年５月と93年１月に24地点で実施した。

５月の調査では、１～14の地点の試掘調査を行った。その結果、下水道浄化センター予定地の北端の微高地において弥生時代中期の包含層を含め、良好な遺構検出面を確認することができた。とくに13・14では土坑・溝、住居跡と推定される遺構が検出されるとともに多量の弥生土器が出土した。９～14においては湧水のため明確な状況は把握しにくかったが、中世以降の水田開発に関与するもので豊富な遺構の広がりは推定できなかった。

１月の調査では15～24の地点の試掘調査を行った。調査の結果、現在の畑部分はすべて客土であるが、水田面まで掘り下げると遺構が検出できた。弥生時代中期の土器を中心に遺物の出土量も多く、磨製石斧も２点出土している。したがって建設予定地の北側部分にはきわめて良好な弥生時代の遺跡があると推測される。　　（太田芳巳）

１～14は５月試掘地点　　15～24は１月試掘地点